

2. リハビリテーション学部 学部共通科目

授業科目名	社会福祉と地域ケア		
担当者名	井村 亮一	実務家教員	○
授業コード	1200013001	授業形態	講義
学年	1	開講期	2021年度 前期
単位数	2	履修	卒業、理学、作業療法士選択必修
ナンバリング	DP3-1-A		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	<p>リハビリテーションの概念は、年老いても障害を持ちながらも、住み慣れたところで安心して自分らしく暮らせることを具現化することにあります。理学療法士・作業療法士は心豊かに暮らしていける地域づくりに寄与していかなければなりません。そのためには、社会福祉の基本知識を習得したうえで、地域ケアシステム構築への理解が求められます。</p> <p>本講義は、その根幹をなすものであり、北九州市で多様な福祉行政に携わってきた教員が、グループワークやディベートを取り入れながら考察します。また、北九州市職員による行政実務の講義や最近のトピックスなどによりできるだけイメージしやすい授業をすすめていきます</p>		
授業の到達目標 〔学習成果〕	<ol style="list-style-type: none"> 1. 現代社会における社会福祉の意義及び制度について、歴史的経緯を踏まえつつ理解し、説明できる。 2. 高齢者の地域包括ケアシステムや障害者総合支援制度における地域ケアの考え方を習得し、これに参画するための行動目標を示すことができる。 3. 社会福祉行政の仕組みやその財源の体系や課題を理解し、クライアント等に説明できる。 		
授業計画	準備学習(予習・復習 等)の具体的な内容及び必要時間		
1	社会福祉の考え方 本講義の概要、オリエンテーション	<p>事前:テキスト第1章を通読しておくこと(90分)</p> <p>事後:配布する資料を読み、指定した項目について調べ、キーワードノートに記載すること(90分)</p>	
2	少子高齢社会の状況とその影響を考える	<p>事前:テキスト第1章を再度読み、ポイントをマークしておくこと(90分)</p> <p>事後:配布する資料のポイントをチェックし、関連する資料や新聞記事を収集すること(90分)</p>	
3	社会福祉の歴史を踏まえて現在の状況を理解する(イギリスを中心として)	<p>事前:テキストの指定範囲(第2回目に指示 以下同様)を通読しておくこと(90分)</p> <p>事後:社会福祉の歴史について指定した用語や人物について調べ、キーワードノートに記載すること(90分)</p>	
4	社会福祉の歴史を踏まえて現在の状況を理解する(日本を中心として)	<p>事前:テキストの指定範囲を通読しておくこと(90分)</p> <p>事後:社会福祉の歴史について指定した用語や人物について調べ、キーワードノートに記載すること(90分)</p>	
5	社会福祉の体系及びその利用の仕組みを知る 第1回～5回の内容について理解を深めるためテスト形式の課題を課す	<p>事前:テキストの指定範囲を通読しておくこと(90分)</p> <p>事後:テスト形式の課題について解答すること(90分)</p>	
6	社会福祉の機関や施設について学ぶ(行政)	<p>事前:テキストの指定範囲を通読しておくこと(90分)</p> <p>事後:指定した用語の意味を調べ、キーワードノートに記載すること(90分)</p>	
7	社会福祉の機関や施設について学ぶ(施設)	<p>事前:テキストの指定範囲を通読しておくこと(90分)</p> <p>事後:指定した用語の意味を調べ、キーワードノートに記載すること(90分)</p>	
8	社会保障、低所得福祉の体系を知る	<p>事前:テキストの指定範囲を通読しておくこと(90分)</p> <p>事後:指定した用語の意味を調べ、キーワードノートに記載すること(90分)</p>	

9	児童福祉施策の体系及び児童虐待防止について考える	事前:テキストの指定範囲を通読しておくこと(90分) 事後:児童虐待防止についてPT・OTとしての役割を考察し、キーワードノートに記載すること(90分)
10	障害者福祉施策と差別解消を考える	事前:テキストの指定範囲を通読しておくこと(90分) 事後:指定した用語の意味を調べ、キーワードノートに記載すること(90分)
11	障害者地域ケアについて 第6回～11回の内容について理解を深めるためテスト形式の課題を課す	事前:テキストの指定範囲を通読しておくこと(90分) 事後:テスト形式の課題について解答すること(90分)
12	高齢者福祉施策と介護保険制度について知る	事前:テキストの指定範囲を通読しておくこと(90分) 事後:指定した用語の意味を調べ、キーワードノートに記載すること(90分)
13	地域福祉及び地域包括ケアシステムの基本を学ぶ	事前:テキストの指定範囲を通読しておくこと(90分) 事後:指定した用語の意味を調べ、キーワードノートに記載すること(90分)
14	利用者保護制度及び社会福祉援助技術の概要を学ぶ	事前:テキストの指定範囲を通読しておくこと(90分) 事後:指定した用語の意味を調べ、キーワードノートに記載すること(90分)
15	社会福祉の担い手及び全体のまとめ	事前:テキストの指定範囲を通読しておくこと(90分) 事後:課題へのフィードバック及びキーワードノートを活用し、講義全体を復習すること(90分)

準備学習・事後学習等についての補足説明

キーワードノートについては紙ベース(A4)で作成のうえ、第12回講義終了後に提出を求めます。

PC等を使用している場合は、印刷出力のうえ提出してください。

成績評価の方法〔評価項目と割合〕※上段:評価項目、下段:割合(%)

定期試験	グループワーク・ディベート・課題	キーワードノート完成度	授業への取り組み
50%	20%	20%	10%

使用テキスト

書籍名	著者	出版社
福祉の基本体系シリーズ①社会福祉の基本体系(第5版)	井村圭壯 今井慶宗編著	勁草書房

参考書又は参考資料等

社会福祉小六法(ミネルヴァ書房)

その他〔受講時の注意点、課題(レポート等)に対するフィードバックについて〕

- ・テスト形式の課題、キーワードノートの作成を課します。成績評価に関わるものですから、真剣に取り組んでください。
- ・テスト形式の課題についてはフィードバック資料お渡します。定期試験に向けた資料ですので活用してください。
- ・講義中の私語は厳禁とします。他の学生への影響を鑑みて退室を申し渡す場合があります。

担当教員の連絡先等

教員 E-mail	その他
imura@lib.bbiq.jp	

授業科目名	基礎心理学		
担当者名	佐野 幹剛	実務家教員	○
授業コード	1200104001	授業形態	講義
学年	1	開講期	2021年度 前期
単位数	2	履修	卒業、理学、作業療法士選択必修
ナンバリング	DP1-1-A		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	<p>本講義では、臨床発達心理士の資格を持ち、スクールカウンセリングの実務経験のある教員が、医療従事者にとって役に立つ心理学の知識を精選し、主に人格・発達・社会・臨床心理学について講じ、人間理解を深めるための一助としたい。心理学は「人間行動の科学」と定義される。行動の法則を定立し、それをもとに行動を記述・説明・予測・制御することを目的としている。そして、その研究分野は多岐にわたっている。パーソナリティとその成り立ち、人生における心の成長と変化の過程、対人関係の始まりと展開、心の悩みや病を抱える人に対する心理学的な理解と援助など多くのテーマがある。授業形態は講義である。</p>		
授業の到達目標 〔学習成果〕	<ul style="list-style-type: none"> ・理学・作業療法士に必要な基本的な心理学に関する基礎知識を身につけることができる。 ・リハビリテーションの臨床で使われる心理検査について概要を理解することができる。 ・代表的な心理療法に関する概要を理解することができる。 		
授業計画	準備学習(予習・復習 等)の具体的な内容及び必要時間		
1	コースオリエンテーション	事前:シラバスの精読・基礎心理学について調べる(90分) 事後:ワークノートの整理と復習問題の実施(90分)	
2	リハビリテーションと基礎心理学の接点	事前:キーワード調べと記録(90分) 事後:ワークノートの整理と復習問題の実施(90分)	
3	心理学の歴史	事前:キーワード調べと記録(90分) 事後:ワークノートの整理と復習問題の実施(90分)	
4	神経心理学と脳・感覚・知覚について	事前:キーワード調べと記録(90分) 事後:ワークノートの整理と復習問題の実施(90分)	
5	認知心理学と学習・記憶について	事前:キーワード調べと記録(90分) 事後:ワークノートの整理と復習問題の実施(90分)	
6	社会心理学と人間関係・コミュニケーション	事前:キーワード調べと記録(90分) 事後:ワークノートの整理と復習問題の実施(90分)	
7	発達心理学と発達課題	事前:キーワード調べと記録(90分) 事後:ワークノートの整理と復習問題の実施(90分)	
8	パーソナリティ心理学とエゴグラム 課題レポートの提出	事前:キーワード調べと記録(90分) 事後:ワークノートの整理と復習問題の実施(90分)	
9	行動心理学と行動療法	事前:キーワード調べと記録(90分) 事後:ワークノートの整理と復習問題の実施(90分)	
10	防衛規制について	事前:キーワード調べと記録(90分) 事後:ワークノートの整理と復習問題の実施(90分)	
11	心理検査(知能・発達・パーソナリティ)について	事前:キーワード調べと記録(90分) 事後:ワークノートの整理と復習問題の実施(90分)	
12	心理検査(神経心理学・認知機能・心理状態)について	事前:キーワード調べと記録(90分) 事後:ワークノートの整理と復習問題の実施(90分)	
13	心理療法(精神分析)について	事前:キーワード調べと記録(90分) 事後:ワークノートの整理と復習問題の実施(90分)	
14	心理療法(認知療法)について	事前:キーワード調べと記録(90分) 事後:ワークノートの整理と復習問題の実施(90分)	
15	カウンセリングマインドについて	事前:キーワード調べと記録(90分) 事後:ワークノートの整理と復習問題の実施(90分)	
準備学習・事後学習等についての補足説明			

配布プリントには、「キーワード調べ」と「復習問題」がセットになっています。「キーワード調べ」は事前学習として、「復習問題」は事後学習として利用してください。特に、復習問題は国家試験問題をベースにして作成しています。授業内容をよく聞いて、問題にチャレンジしてください。

成績評価の方法〔評価項目と割合〕※上段:評価項目、下段:割合(%)

ワークノートの完成度	課題レポートの完成度	定期試験	
30%	20%	50%	

使用テキスト

書籍名	著者	出版社
特になし ワークノートを配布します。		

参考書又は参考資料等

リハベーシック 心理学・臨床心理学 内山 靖(編集) 医歯薬出版

その他〔受講時の注意点、課題(レポート等)に対するフィードバックについて〕

ワークノートは授業期間中2回提出していただきます。課題レポートは内容をチェック後にフィードバック資料として返却します。レポートの課題は、エゴグラムの結果から自己分析してください。

担当教員の連絡先等

教員 E-mail	その他

2-2. リハビリテーション学部 作業療法学科

授業科目名	整形外科学		
担当者名	整形外科医局	実務家教員	○
授業コード	1200028001	授業形態	講義
学年	2	開講期	2021 年度 前期
単位数	2	履修	卒業・作業療法士必修
ナンバリング	DP2-2-A		
授業の概要と方法〔実務家教員についての特記事項含む〕	この講義は、整形外科医師がリハビリテーション医学の対象となる代表的な整形外科疾患ならびに合併症に対する治療やリスク管理について講義する。また、X線やCTなどの画像診断や手術療法および後療法について講義する。		
授業の到達目標〔学習成果〕	整形外科領域における症候学に基づく、基本的知識と疾患の概要について学ぶ。四肢外傷、変性疾患、炎症疾患、化膿性疾患、代謝性疾患等の治療法、特に手術療法ならびに後療法について学習する。		
授業計画		準備学習(予習・復習 等)の具体的な内容及び必要時間	
1	運動器の基本的評価方法と基本的検査、運動器の評価と検査(安田廣生) P21-43(2. 運動器の評価および検査法 A.基本的評価法 B.基本的検査 C.運動器の評価と検査)	事前(90分):教科書指定範囲(授業計画に記載)を通読しておくこと 事後(90分):各章最後の復習のポイントに回答したり、疑問に感じた内容や、不明な専門用語について調べノートにまとめること。	
2	運動器の評価と検査について、ランドマークと検査手技実習(安田廣生) P30-43(2. 運動器の評価および検査法 C.運動器の評価と検査(実習))	事前(90分):教科書指定範囲(授業計画に記載)を通読しておくこと 事後(90分):各章最後の復習のポイントに回答したり、疑問に感じた内容や、不明な専門用語について調べノートにまとめること。	
3	骨の基礎と骨疾患(見明豪) P2-5(1. 整形外科基礎知識 A.骨の発生と成長) P76-77(6. 先天性骨・関節疾患 A.代表的な先天性骨疾患) P71-72(5. 代謝・内分泌疾患 B.退行性疾患 1 骨粗鬆症)	事前(90分):教科書指定範囲(授業計画に記載)を通読しておくこと 事後(90分):各章最後の復習のポイントに回答したり、疑問に感じた内容や、不明な専門用語について調べノートにまとめること。	
4	軟骨・関節の基礎と関節疾患(進悟史) P5-8(1. 整形外科基礎知識 B.軟骨の基本構造、C.関節の基本構造) P77-78(6. 先天性骨・関節疾患 B.先天性関節疾患) P61-65(4. 炎症性疾患 B.非感染症性関節疾患) P72-75(5. 代謝・内分泌疾患、退行性疾患 B.退行性疾患 2. 変形性関節症、3. 神経病性関節症、4.. 血友病性関節症)	事前(90分):教科書指定範囲(授業計画に記載)を通読しておくこと 事後(90分):各章最後の復習のポイントに回答したり、疑問に感じた内容や、不明な専門用語について調べノートにまとめること。	
5	骨格筋・神経の基礎と同疾患(上森知彦) P8-19(1. 整形外科基礎知識 D.骨格筋の基本構造と機能、E.神経系の基本構造、F.骨・関節、筋・神経の病態生理) P94-99(9. 神経・筋疾患)	事前(90分):教科書指定範囲(授業計画に記載)を通読しておくこと 事後(90分):各章最後の復習のポイントに回答したり、疑問に感じた内容や、不明な専門用語について調べノートにまとめること。	

6	感染症や代謝内分泌疾患等(安田廣生) P59-61, P65-68(4. 炎症性疾患 A.感染症(軟部組織・骨・関節)、C.その他感染症疾患) P69-71(5. 代謝・内分泌疾患、退行性疾患 A.代謝・内分泌疾患) P78-80(6. 先天性骨・関節疾患 C.その他)	事前(90分):教科書指定範囲(授業計画に記載)を通読しておくこと 事後(90分):各章最後の復習のポイントに回答したり、疑問に感じた内容や、不明な専門用語について調べノートにまとめること。
7	循環障害と壊死性疾患、骨軟部腫瘍(前川啓) P81-93(7. 循環障害と壊死性疾患、8. 骨・軟部腫瘍)	事前(90分):教科書指定範囲(授業計画に記載)を通読しておくこと 事後(90分):各章最後の復習のポイントに回答したり、疑問に感じた内容や、不明な専門用語について調べノートにまとめること。
8	整形外科治療法前半、熱傷(安田廣生) P44-51(3. 整形外科治療法(皮膚移植まで) P165-167(17. 熱傷)	事前(90分):教科書指定範囲(授業計画に記載)を通読しておくこと 事後(90分):各章最後の復習のポイントに回答したり、疑問に感じた内容や、不明な専門用語について調べノートにまとめること。
9	整形外科治療法後半、切断及び離断(安田廣生) P51-56(3. 整形外科治療法(腱の手術から)) P168-175(18. 切断及び離断)	事前(90分):教科書指定範囲(授業計画に記載)を通読しておくこと 事後(90分):各章最後の復習のポイントに回答したり、疑問に感じた内容や、不明な専門用語について調べノートにまとめること。
10	骨折総論、体幹並びに上肢骨折(森達哉) P115-128(11. 骨折 A.概論-骨折とは、B.体幹の骨折、C.四肢の骨折(上肢)	事前(90分):教科書指定範囲(授業計画に記載)を通読しておくこと 事後(90分):各章最後の復習のポイントに回答したり、疑問に感じた内容や、不明な専門用語について調べノートにまとめること。
11	下肢骨折、関節における外傷性疾患(大森康宏) P128-132(11. 骨折 C.四肢の骨折(下肢) P139-142(13. 関節における外傷性疾患)	事前(90分):教科書指定範囲(授業計画に記載)を通読しておくこと 事後(90分):各章最後の復習のポイントに回答したり、疑問に感じた内容や、不明な専門用語について調べノートにまとめること。
12	脊椎の疾患(今村寿宏) P100-111(10. 脊椎の疾患)	事前(90分):教科書指定範囲(授業計画に記載)を通読しておくこと 事後(90分):各章最後の復習のポイントに回答したり、疑問に感じた内容や、不明な専門用語について調べノートにまとめること。
13	脊髄損傷(樽角清志) P133-138(12. 脊髄損傷)	事前(90分):教科書指定範囲(授業計画に記載)を通読しておくこと 事後(90分):各章最後の復習のポイントに回答したり、疑問に感じた内容や、不明な専門用語について調べノートにまとめること。
14	末梢神経や腱・靭帯の外傷性疾患(花田麻須大) P143-155(14. 末梢神経における外傷性疾患、1 5. 腱・靭帯における外傷性疾患)	事前(90分):教科書指定範囲(授業計画に記載)を通読しておくこと 事後(90分):各章最後の復習のポイントに回答したり、疑問に感じた内容や、不明な専門用語について調べノートにまとめること。
15	スポーツ障害(田代泰隆) P156-164(16. スポーツ障害)	事前(90分):教科書指定範囲(授業計画に記載)を通読しておくこと 事後(90分):各章最後の復習のポイントに回答したり、疑問に

		感じた内容や、不明な専門用語について調べノートにまとめること。	
準備学習・事後学習等についての補足説明			
各講義に関連する教科書ページを前もって読んでくること。 事後には各章最後の“復習のポイント”に記載された問いに答えたり、本末にある“セルフアセスメント”を解答したりすること。			
成績評価の方法〔評価項目と割合〕※上段:評価項目、下段:割合(%)			
定期試験			
100%			
使用テキスト			
書籍名	著者	出版社	
標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 整形外科学第4版			
参考書又は参考資料等			
適宜資料を配布する。			
その他〔受講時の注意点、課題(レポート等)に対するフィードバックについて〕			
効率よく、且つ分かりやすくする為に、できる限り基礎と臨床をつないだ講義内容としている。 よって、教科書の順番通りではないが、すべてを網羅できるように工夫してある。 各講義の教科書ページに注意すること。			
担当教員の連絡先等			
教員 E-mail	その他		
非公開とする。	質問等は、講義中に受付けます。		

授業科目名	作業療法学概論		
担当者名	渕 雅子、佐野 幹剛、深町 晃次	実務家教員	○
授業コード	1220065001	授業形態	講義
学年	1	開講期	2021年度 前期
単位数	2	履修	卒業・作業療法士必修
ナンバリング	DP2-1-A		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	リハビリテーション病院管理職、発達医療センター、精神保健センター勤務などで実務経験を有する教員が、それぞれの知見を活かし、作業療法とは何かについて、その歴史や原理についてより具体的な作業療法を総合的・体系的に概説する。また、対象となる身体機能分野、高齢期分野、精神機能分野、発達課程分野の作業療法実践過程について理解を深め、作業療法の範囲や役割について考察する。加えて、医療人としてリハビリテーションにおける作業療法士の資質について検討する。		
授業の到達目標 〔学習成果〕	<ol style="list-style-type: none"> 1. 作業活動の意義や作業療法の機能と役割を理解する。 2. 医学的・社会的・教育的・職業的リハビリテーションにおける作業療法を体系的に理解する。 3. 身体機能分野、高齢期分野、精神機能分野、発達過程分野の作業療法実践課程を理解する。 4. 医療人および作業療法士の資質とあり方について理解する。 		
授業計画	準備学習(予習・復習 等)の具体的な内容及び必要時間		
1	オリエンテーション:授業の進め方、ノート作成について(渕)	事後:ワークノートの整理(90分)	
2	作業と作業療法 p3~p11(渕) 作業療法の定義 p11~p14(渕)	事前:教科書の指定ページを通読する(90分) 事後:ワークノートの整理と課題学習(90分)	
3	作業療法の原理 p15~p28 リハビリテーションの歴史と作業療法 p29~p39(佐野)	事前:作業療法の歴史について教科書の該当箇所を通読する(90分) 事後:ワークノートの整理と課題学習(90分)	
4	作業療法の理論 p47~p62 世界の作業療法 p63~p76 (佐野)	事前:作業療法の歴史について教科書の該当箇所を通読する(90分) 事後:ワークノートの整理と課題学習(90分)	
5	作業療法の歴史:リハビリテーション発祥地記念館見学(深町)	事前:日本リハビリテーション発祥地記念館開設記念誌を熟読しておく(90分) 事後:見学レポート作成(90分)	
6	作業療法の教育体系 p49~p90 医療倫理と作業療法士に求められる資質・適応 p91~p99 (佐野)	事前:教科書の該当箇所を通読する(90分) 事後:ワークノートの整理と課題学習(90分)	
7	多職種連携によるチームアプローチ p100~p111 EBMと作業療法 p112~p125 (佐野)	事前:作業療法の実際について教科書の該当箇所を通読する(90分) 事後:ワークノートの整理と課題学習(90分)	
8	作業療法の領域 p40~p46 作業療法の現場 p152~p155 (深町)	事前:教科書の該当箇所を通読する(90分) 事後:ワークノートの整理と課題学習(90分)	
9	作業療法の課程 p129~p151 作業療法の記録と報告 p256~p267 (深町)	事前:身体障害、精神障害、発達障害、高齢期障害について調べる(90分) 事後:ワークノートの整理と課題学習(90分)	
10	身体機能分野における作業療法実践課程 p159~p173(渕)	事前:教科書の該当箇所を通読する(90分) 事後:ワークノートの整理と課題学習(90分)	
11	精神機能分野における作業療法実践課程 p174~p189(深町)	事前:教科書の該当箇所を通読する(90分) 事後:ワークノートの整理と課題学習(90分)	
12	発達過程分野における作業療法実践課程 p190~p204(佐野)	事前:教科書の該当箇所を通読する(90分) 事後:ワークノートの整理と課題学習(90分)	

13	高齢機能分野における作業療法実践課程 p205～p219 (測)	事前:作業療法と研究について教科書の該当箇所を通読する(90分) 事後:ワークノートの整理と課題学習(90分)
14	医療福祉制度 p229～244 作業療法部門の管理・運営 P245～P255 (測)	事前:教科書の指定ページを通読する(90分) 事後:ワークノートの整理と課題学習(90分)
15	作業療法の現状と展望 (測)	事前:これからの作業療法、作業療法の発展について調べてくる(90分) 事後:ワークノートの整理と課題学習(90分)
準備学習・事後学習等についての補足説明		
指定された、事前、事後の学習内容について予習・復習を欠かさず、可能な限り疑問点を解決すること。		
成績評価の方法〔評価項目と割合〕※上段:評価項目、下段:割合(%)		
定期試験	小テスト	課題
40%	30%	30%
使用テキスト		
書籍名	著者	出版社
標準作業療法学 作業療法学概論	二木淑子 能藤真一 編集	医学書院
参考書又は参考資料等		
作業療法全書 改訂第3版 第1巻 作業療法概論 日本作業療法士協会監修 杉原素子編集 協同医書出版社 作業療法学 ゴールドマスターテキスト 作業療法学概論 長崎重信監修 メジカルビュー社		
その他〔受講時の注意点、課題(レポート等)に対するフィードバックについて〕		
① 予習による疑問点が解決できない場合は講義中に積極的に質問すること。 ② 意見交換や討議を行う場合は積極的に発言すること。 ③ 大学生としての態度と探求心をもって受講することを望みます。 ④ 課題レポートはフィードバック資料として返却します。事後学習や定期試験対策の参考にしてください。		
担当教員の連絡先等		
教員 E-mail	その他	

授業科目名	活動解析演習		
担当者名	佐野 幹剛	実務家教員	○
授業コード	1220050001	授業形態	演習
学年	3	開講期	2021年度 前期
単位数	1	履修	卒業・作業療法士必修
ナンバリング	DP3-3-A		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	<p>発達医療センターに勤務し、特別支援教育や地域・家族支援に携わってきた教員が、作業療法の中核をなす作業活動について、科学的視点で作業の持つ本質の詳細を演習形式にて学修する。特に、日常生活活動において、動作的要素、認知的要素、感情的要素にわけて、普段実行している活動の構成要素についてグループで検討し明確にする。さらに、運動麻痺、高次脳機能障害などの障害特性からくる作業活動の問題についてもグループで検討する。</p>		
授業の到達目標 〔学習成果〕	<ul style="list-style-type: none"> ・人間の動きに関する動作分析の方法を理解し、基本的動作を分析することができるようになる。 ・日常生活活動における動作的要素、認知的要素、感情的要素を理解することができるようになる。 ・運動障害や認知障害に伴う行動問題を分析することができるようになる。 		
授業計画	準備学習(予習・復習 等)の具体的な内容及び必要時間		
1	オリエンテーション 活動分析の目的と臨床での応用	事前:シラバスを通読し、活動分析の意味を調べる(20分) 事後:ワークノートの整理と課題の作成(25分)	
2	活動分析の方法① 静止画・ビデオを使った身体部位の動作解析法	事前:身体運動の分析方法について調べる(20分) 事後:ワークノートの整理と課題の作成(25分)	
3	活動分析の方法② 重心動揺計を使った姿勢変化の解析法	事前:重心動揺について調べる(20分) 事後:ワークノートの整理と課題の作成(25分)	
4	活動分析の方法③ フォースプレートを使った歩行分析	事前:フォースプレートについて調べる(20分) 事後:ワークノートの整理と課題の作成(25分)	
5	活動分析の方法④ 筋電図を使った筋活動パターンの解析	事前:筋電図について調べる(20分) 事後:ワークノートの整理と課題の作成(25分)	
6	活動分析の実際① 基本動作の分析1:立ち上がり分析演習	事前:立ち上がりの動作手順を調べておく(20分) 事後:ワークノートの整理と課題の作成(25分)	
7	活動分析の実際② 基本動作の分析2:ファンクショナル・リーチの分析演習	事前:ファンクショナル・リーチについて調べる(20分) 事後:ワークノートの整理と課題の作成(25分)	
8	活動分析のデータ収集演習:重心動揺計を用いたリーチング動作のデータ収集演習	事前:事前配布資料を通読しておく(20分) 事後:ワークノートの整理と課題の作成(25分)	
9	活動分析のデータ処理演習:統計処理演習	事前:検定手順の資料を通読しておく(20分) 事後:ワークノートの整理と課題の作成(25分)	
10	日常生活活動の分析演習① 掃除の動作的要素、認知的要素、感情的要素	事前:掃除を行い動作・認知・感情要素を確かめておく(20分) 事後:ワークノートの整理と課題の作成(25分)	
11	日常生活活動の分析演習② 食器洗いの動作的要素、認知的要素、感情的要素	事前:食器を洗い動作・認知・感情要素を確かめておく(20分) 事後:ワークノートの整理と課題の作成(25分)	
12	日常生活活動の分析演習③ 洗濯物を干す作業の動作的要素、認知的要素、感情的要素	事前:洗濯物を干し動作・認知・感情要素を確かめておく(20分) 事後:ワークノートの整理と課題の作成(25分)	
13	運動障害や認知障害に伴う日常生活動作の課題分析演習① 更衣動作	事前:更衣動作の健常な動作手順を確かめておく(20分) 事後:ワークノートの整理と課題の作成(25分)	
14	運動障害や認知障害に伴う日常生活動作の課題分析演習② 食事動作	事前:食事動作の健常な動作手順を確かめておく(20分) 事後:ワークノートの整理と課題の作成(25分)	
15	運動障害や認知障害に伴う日常生活動作の課題分析演習③ 洗体動作	事前:洗体動作の健常な動作手順を確かめておく(20分) 事後:ワークノートの整理と課題の作成(25分)	
準備学習・事後学習等についての補足説明			
ワークノートは期間中2回提出してください。確認後、次の授業で返却します。			

成績評価の方法〔評価項目と割合〕※上段:評価項目、下段:割合(%)			
ワークノートの課題の完成度	授業へ取り組み	課題レポートの完成度	
40%	20%	40%	
使用テキスト			
書籍名	著者	出版社	
使用しない(都度資料を配布する)			
参考書又は参考資料等			
「日常生活活動の分析 身体運動学的アプローチ」 医歯薬出版株式会社			
その他〔受講時の注意点、課題(レポート等)に対するフィードバックについて〕			
<p>新型コロナウイルス感染状況によっては、オンライン授業になり場合もあります。</p> <p>ワークノート及び課題レポートについては、チェック後フィードバック資料として返却します。内容に不足があれば修正後再提出してください。実際に機器を使用しながらテーマに沿った分析を行います。機器の取り扱いには十分気をつけてください。</p> <p>学生同士で演習する場合は、フェイスシールドおよびマスクを着用して実施してください。</p>			
担当教員の連絡先等			
教員 E-mail	その他		

授業科目名	医療安全管理学		
担当者名	吉岡 奈々、青山 克実、渕 雅子	実務家教員	
授業コード	1220074001	授業形態	講義
学年	3	開講期	2021年度 前期
単位数	2	履修	卒業・作業療法士必修
ナンバリング	DP2-3-A		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	<p>リハビリテーション業務での医療事故は年々増加しており、個人情報の漏洩なども挙げられる。作業療法士は対象者のリスクマネジメントとともに、物品や情報、自分自身の管理能力を身につけることも必要となる。リハビリテーション病院管理職、大手病院管理部門などでの勤務経験を有する教員が、それぞれの経験から現場での実践的な作業療法場面の提示を行い、作業療法事故防止のために、高齢・身体・発達・精神障害の各領域のより具体的なリスク管理の臨床実態を学ぶ。そして、安全対処ができるチームの一員となれるための基本的知識を演習（グループ学習・発表）することにより、臨床に臨む準備態勢を培う。</p>		
授業の到達目標 〔学習成果〕	<p>1、疾患の急変予測やリスクマネジメントについて理解できる。 2、疾患の急変に対する対処方法について理解できる。 3、作業療法実施上の安全管理と自分自身の管理能力を身につける。</p>		
授業計画	準備学習(予習・復習 等)の具体的な内容及び必要時間		
1	作業療法マネージメント(管理運営)と医療安全 リハビリテーションにおけるリスク管理, 総論 P2~13 (渕)	事前:教科書該当ページを通読し内容を理解する(90分) 事後:重要なポイントを復習し小テストに備える(90分)	
2	リハビリテーションにおけるリスク管理, 総論 P14~42 (吉岡)	事前:教科書該当ページを通読し内容を理解する(90分) 事後:重要なポイントを復習し小テストに備える(90分)	
3	リハビリテーションにおけるリスク管理, 総論 P43~106 (吉岡)	事前:教科書該当ページを通読し内容を理解する(90分) 事後:重要なポイントを復習し小テストに備える(90分)	
4	疾患ごとの急変予測、症状と対応①脳卒中 p.108~122(渕)	事前:教科書該当ページを通読し内容を理解する(90分) 事後:重要なポイントを復習し小テストに備える(90分)	
5	疾患ごとの急変予測、症状と対応②運動器疾患 P123~134(吉岡)	事前:教科書該当ページを通読し内容を理解する(90分) 事後:重要なポイントを復習し小テストに備える(90分)	
6	疾患ごとの急変予測、症状と対応③循環器疾患 P135~147、P176~187(吉岡)	事前:教科書該当ページを通読し内容を理解する(90分) 事後:重要なポイントを復習し小テストに備える(90分)	
7	疾患ごとの急変予測、症状と対応④ 呼吸器疾患 P148~155(吉岡)	事前:教科書該当ページを通読し内容を理解する(90分) 事後:重要なポイントを復習し小テストに備える(90分)	
8	疾患ごとの急変予測、症状と対応⑤悪性腫瘍(がん) ⑥糖尿病 P156~187(吉岡)	事前:教科書該当ページを通読し内容を理解する(90分) 事後:重要なポイントを復習し小テストに備える(90分)	
9	疾患ごとの急変予測、症状と対応⑥精神科疾患、臨床 実習に向けて個人情報保護と作業療法士の職業倫理 (青山)	事前:事前配布資料を通読し内容を理解する(90分) 事後:重要なポイントを復習し小テストに備える(90分)	
10	疾患ごとの急変予測、症状と対応⑦小児疾患(渕)	事前:事前配布資料を通読し内容を理解する(90分) 事後:重要なポイントを復習し小テストに備える(90分)	

11	どのような急変を生じるか 遭遇しやすい症状と対処方法 P190～230(吉岡)	事前:教科書該当ページを通読し内容を理解する(90分) 事後:重要なポイントを復習し小テストに備える(90分)
12	どのような急変を生じるか 遭遇しやすい症状と対処方法 P231～285(吉岡)	事前:教科書該当ページを通読し内容を理解する(90分) 事後:重要なポイントを復習し小テストに備える(90分)
13	急変を生じた場合に P288～P313(吉岡)	事前:教科書該当ページを通読し内容を理解する(90分) 事後:重要なポイントを復習し小テストに備える(90分)
14	リハビリテーションに関連するその他のリスク(転倒)P316～334(吉岡)	事前:教科書該当ページを通読し内容を理解する(90分) 事後:重要なポイントを復習し小テストに備える(90分)
15	リハビリテーションに関連するその他のリスク(窒息・感染)P335～369(吉岡)	事前:事前配布資料を通読し内容を理解する(90分) 事後:重要なポイントを復習し実習への心構えを構築する(90分)
準備学習・事後学習等についての補足説明		
準備学修は、指定した教科書の範囲または配布資料を事前に読んで理解を深めておく。授業で扱う疾患の病態や基本的な治療について、内科学の授業も参考にしながら予習しておくこと。事後学修は、教科書やノートで復習し、小テストに備える。		
成績評価の方法〔評価項目と割合〕※上段:評価項目、下段:割合(%)		
定期試験	小テスト	課題
50%	30%	20%
使用テキスト		
書籍名	著者	出版社
「リハビリテーションリスク管理ハンドブック第4版	亀田メディカルセンター	メジカルビュー社
参考書又は参考資料等		
日本作業療法士協会:「作業療法 事故防止マニュアル」,2005 医療安全ハンドブック編集委員会:「医療安全管理の進め方」,メジカルフレンド社,2002 「作業療法管理学入門」,医歯薬出版株式会社,2018		
その他〔受講時の注意点、課題(レポート等)に対するフィードバックについて〕		
事前学習により、授業中の理解を深め、積極的に質問すること。レポートは、提出期限を守ること。		
担当教員の連絡先等		
教員 E-mail	その他	

授業科目名	地域移行精神障害作業療法学		
担当者名	深町 晃次、青山 克実	実務家教員	○
授業コード	1220078001	授業形態	講義
学年	3	開講期	2021 年度 前期
単位数	2	履修	卒業・作業療法士必修
ナンバリング	DP4-3-A		
授業の概要と方法 〔実務家教員について の特記事項含む〕	<p>高齢者医療を先駆けとして医療全体が地域包括ケアへの移行を目指していることは、精神医療にとっても重要な意義を持っている。急性期医療から回復過程の作業療法について、リハビリ志向で学修する。</p> <p>また、地域移行の視点で作業療法の評価・計画・実践ができるよう、テキスト学習や事例演習、ミニ討議、グループ発表を通して主体的に学修する。</p> <p>以上の内容に関して地域精神保健福祉分野や精神科病院での実務経験がある教員が適宜、情報を提供しながら学修を深める。</p>		
授業の到達目標 〔学習成果〕	<ol style="list-style-type: none"> 1.現病歴・生活歴および入院から退院までの作業療法経過を、リハビリ志向でまとめることができる。 2.退院後計画を地域ケアチームに情報提供する方法を習得する。 3.地域精神医療における作業療法の役割・機能について説明することができる。 4.地域移行・地域定着支援に関する社会資源や支援技術を説明することができる。 5.我が国の精神科作業療法の将来像を描くことができる。 		
授業計画	準備学習(予習・復習 等)の具体的な内容及び必要時間		
1	精神障害評論演習のまとめと振り返り(青山)	事前:精神障害評価論演習の講義資料のファイリングと見直し(90分) 事後:振り返りシート(90分)	
2	地域生活移行支援と作業療法の実際(青山)	事前:精神障害領域における地域生活移行支援に関する事例報告(論文)の検索と通読(90分) 事後:振り返りシート(90分)	
3	長期入院に対する作業療法と退院支援の実際(青山)	事前:長期入院に対する作業療法に関する事例報告(論文)の検索と通読(90分) 事後:振り返りシート(90分)	
4	基本方針～介入プラン演習(青山)	事前:「精神領域の作業療法第2版」p47-66の通読 事後:振り返りシート(90分)	
5	基本方針～介入プラン演習(青山)	事前:事前に配布した事例に対する基本方針作業療法プランを検討する(90分) 事後:小テストに備えて、学習した点の整理(90分)	
6	在宅生活者への地域生活支援(精神科デイケア、通所リハ、訪問看護、外来OT)(青山)	事前:「精神領域の作業療法第2版」p191-227の通読(90分) 事後:振り返りシート(90分)	
7	精神科作業療法に関連した療法 ①認知リハビリテーション(青山)	事前:精神障害領域における認知リハビリテーションに関する事例報告(論文)の検索と通読(90分) 事後:振り返りシート(90分)	
8	精神科作業療法に関連した療法 ②認知行動療法と事例検討(深町)	事前:配布資料を通読し、質問プリントを提出(90分) 事後:小テストに備えて、学習した点を整理(90分)	
9	精神科作業療法に関連した療法 ③SST, WRAP(深町)	事前:配布資料を通読し、質問プリントを提出(90分) 事後:小テストに備えて、学習した点を整理(90分)	
10	精神科作業療法に関連した療法 ④SSTの実際(深町)	事前:配布資料を通読し、質問プリントを提出(90分) 事後:小テストに備えて、学習した点を整理(90分)	
11	精神科ケアマネジメントとチーム医療による生活支援の実際(深町)	事前:配布資料を通読し、質問プリントを提出(90分) 事後:小テストに備えて、学習した点を整理(90分)	
12	地域生活支援と事例検討(深町)	事前:配布資料を通読し、質問プリントを提出(90分) 事後:小テストに備えて、学習した点を整理(90分)	

13	認知症患者の地域移行:生活行為向上マネジメントによる事例演習を含む(深町)	事前:配布資料を通読し、質問プリントを提出(90分) 事後:小テストに備えて、学習した点を整理(90分)
14	依存症患者の地域移行:ARP や DARC を中心に(深町)	事前:配布資料を通読し、質問プリントを提出(90分) 事後:小テストに備えて、学習した点を整理(90分)
15	司法精神医療におけるOTの役割 世界と日本の精神科作業療法の地域移行(深町)	事前:配布資料を通読し、質問プリントを提出(90分) 事後:小テストに備えて、学習した点を整理(90分)
準備学習・事後学習等についての補足説明		
<p>■精神医学Ⅰ・Ⅱ、急性期精神障害作業療法学、精神障害評価論演習等の科目と連動するので関係資料等を持参すること。</p> <p>■「事前事後学習のポートフォリオ(青山担当)」は、事前学習として提示した課題(論文通読)のコピーと振り返りシートをファイリングしておくこと(成績評価の方法に含みます)。</p>		
成績評価の方法〔評価項目と割合〕※上段:評価項目、下段:割合(%)		
小テスト・定期試験	課題・レポート又はワークノートの提出	事前事後学習のポートフォリオと振り返りシート
70%	20%	10%
使用テキスト		
書籍名	著者	出版社
使用しない		
参考書又は参考資料等		
<p>早坂友成・編:精神科作業療法の理論と技術,メジカル・ビュー社,2018 岡田岳,長谷川明洋,照井林陽:OT 症例レポート,羊土社,2018 熊野宏昭:新世代の認知行動療法, 日本評論社, 2012 山田孝・編著:事例でわかる人間作業モデル. 共同医書出版, 2015 齋藤祐樹・編集:作業で語る事例報告 作業療法レジメの書きかた・考え方. 医学書院, 2014</p>		
その他〔受講時の注意点、課題(レポート等)に対するフィードバックについて〕		
担当教員の連絡先等		
教員 E-mail	その他	

授業科目名	職業関連支援		
担当者名	平澤 勉、湊 雅子	実務家教員	○
授業コード	1220062001	授業形態	演習
学年	3	開講期	2021年度 前期
単位数	1	履修	卒業・作業療法士必修
ナンバリング	DP2-3-A		
授業の概要と方法 〔実務家教員について の特記事項含む〕	地域医療法人での勤務歴が長く作業療法士として就労支援経験のある教員が、職業リハビリテーションの実際を解説し、障害を持ちながら働くことについての理解を深める。職業リハビリテーションに関する制度や支援機関、職業関連評価について説明する。就労支援における作業療法の役割を、実例を通して考察する。		
授業の到達目標 〔学習成果〕	<ol style="list-style-type: none"> 1. 職業リハビリテーションの動向、支援制度について説明することができる。 2. 就労に関する評価について説明することができる。 3. 疾患や障害像に応じた就労支援のポイントを説明することができる。 		
授業計画	準備学習(予習・復習 等)の具体的な内容及び必要時間		
1	オリエンテーション、働くこと、障害者の雇用状況(平澤)	事前:働くことの意味や価値を考察する(20分) 事後:働くことについて、自分なりの意見をまとめる(25分)	
2	障害者の就労支援に関わる制度・関連諸機関(平澤)	事前:障害者総合支援法の「訓練等給付」を調べる(20分) 事後:学んだことを書き出す(25分)	
3	「働く」に必要な評価、個人の評価(平澤)	事前:前回までの授業内容を復習する(20分) 事後:学んだことを書き出す(25分)	
4	環境の評価、マッチング(平澤)	事前:前回までの授業内容を復習する(20分) 事後:学んだことを書き出す(25分)	
5	各種評価法・検査法(VPI, GATB, ワークワンプル法など)(平澤)	事前:前回までの授業内容を復習する(20分) 事後:学んだことを書き出す(25分)	
6	就労支援の実際① 身体障害領域(脳卒中)(湊)	事前:事前に配布する資料を通読し、脳卒中患者の就労支援について予習を行う(20分) 事後:脳卒中患者の就労支援について理解を深める(25分)	
7	就労支援の実際② 身体障害領域(脊髄損傷)(湊)	事前:事前に配布する資料を通読し、脊髄損傷患者の就労支援について予習を行う(20分) 事後:脊髄損傷患者の就労支援について理解を深める(25分)	
8	就労支援の実際③ 身体障害領域(高次脳機能障害)(湊)	事前:事前に配布する資料を通読し、高次脳機能障害患者の就労支援について予習を行う(20分) 事後:高次脳機能障害患者の就労支援について理解を深める(25分)	
9	就労支援の実際④ ジョブコーチの就労支援の実際(湊)	事前:ジョブコーチの仕事について調べておく(20分) 事後:授業を振り返り、ジョブコーチという職種を通して就労支援について理解を深める(25分)	
10	就労支援の実際⑤ 精神障害領域(うつ病)ワーク支援(平澤)	事前:うつ病の生活障害について調べる(20分) 事後:学んだことを書き出す(25分)	
11	就労支援の実際⑥ 精神障害領域(うつ病, 統合失調症)(平澤)	事前:うつ病, 統合失調症の生活障害について復習する(20分) 事後:学んだことを書き出す(25分)	
12	就労支援の実際⑦ 精神障害領域(統合失調症, IPS)(平澤)	事前:統合失調症の生活障害について復習する(20分) 事後:学んだことを書き出す(25分)	
13	就労支援の実際⑧ 精神障害領域(知的障害, 発達障害領域)(平澤)	事前:知的・発達障害の生活障害について復習する(20分) 事後:学んだことを書き出す(25分)	
14	障害者が働くために必要なこと グループディスカッション(平澤)	事前:「働くこと」について再度考察する(20分) 事後:授業を受けて学んだことを書き出す(25分)	

15	職業関連支援に関するグループ演習(平澤)	事前:本科目全体を通して、不明な点について列挙する(20分) 事後:本科目全体を通して、学んだことを書き出す(25分)	
準備学習・事後学習等についての補足説明			
就労領域で働く作業療法士の話聴く機会を設け、学んだことをレポートにまとめます。シラバスでは第9回となっていますが、都合により前後する場合があります。			
成績評価の方法[評価項目と割合]※上段:評価項目、下段:割合(%)			
定期試験	課題		
50%	50%		
使用テキスト			
書籍名	著者	出版社	
使用しない(都度資料を配布)			
参考書又は参考資料等			
適宜資料を配布する			
その他[受講時の注意点、課題(レポート等)に対するフィードバックについて]			
出席・提出物の締切を守ることは特に厳しく評価します。 課題は小テスト、レポート、演習課題により、総合評定します。			
担当教員の連絡先等			
教員 E-mail	その他		